

走れメロス

太宰 治作

【第一場面】

◇時

- ・ 妹の結婚式を控えたある日

◇場所

- ・ 十里離れたシクラスの町

◇登場人物

○メロス

- ・ 村の牧人
- ・ 邪悪に対して人一倍敏感
- ・ 父も母も女房もいない
- ・ 妹の結婚準備のためにシクラスの町に来た。

○妹

- ・ 内気な十六歳

○セリヌンティウス

- ・ メロスの竹馬の友
- ・ シクラスの町の石工

【第二場面】

◇時

- ・ 深夜
- ・ 初夏

◇場所

- ・ シクラスの町の王

城

◇登場人物

○メロス

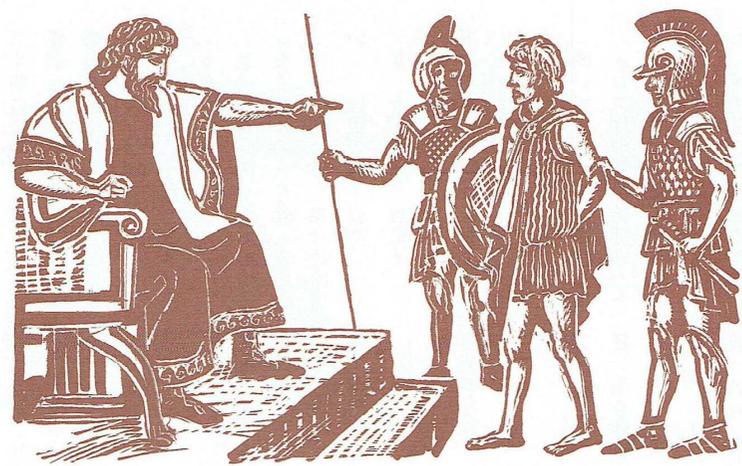
- ・ 王に激怒し、王城に入った。
- ・ セリヌンテイウスを人質に三日間の日限をもらった

○王（暴君デイオニス）

- ・ 人の心を信じられない。

○セリヌンテイウス

- ・ メロスの人質に城へ召された。



【第三場面】

◇時

- ・ 明くる日

◇場所

- ・ 村
- ・ 結婚式

◇登場人物

○メロス

- ・ 一睡もせず村に戻った。
- ・ 花婿に翌日結婚式をするように頼んだ。
- ・ 未練を打ち消し、出発を決意した。

○妹

- ・ 羊群の番をしていた。
- ・ 結婚式で夢見心地だった。

○花婿

- ・ 頑強

【第四場面】

◇時

- ・ 明くる日の薄明のころ

◇場所

- ・ シクラスへの道中（隣町、峠）

◇登場人物

○メロス

- ・ 雨中、矢のごとく走り出した。
- ・ 激流を前に、ゼウスに哀願した。
- ・ 荒れた川を泳いで渡った。
- ・ 山賊を倒し、峠を下った。
- ・ 動けなくなつた。
- ・ 「もうどうでもいい」と思った。

○山賊

- ・ メロスの目の前に躍り出した。
- ・ メロスの命が欲しい。



【第五場面】

◇時

- ・ 日没前↓日没寸前

◇場所

- ・ シクラスへの道中
- ・ 刑場

◇登場人物

○メロス

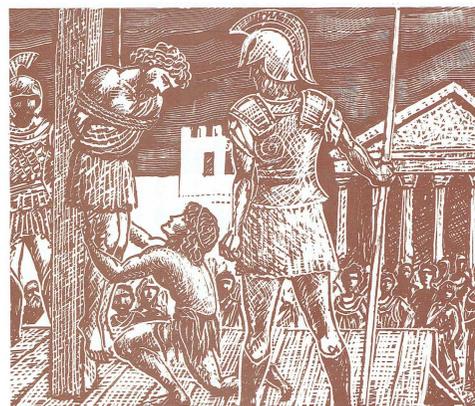
- ・ 疲労回復し、希望が生まれた。
- ・ 一度あきらめかけたことをセリヌンテイウスに打ち明けた。

○フィロストラトス

- ・ セリヌンテイウスの弟子
- ・ もう間に合わないともロスを止めようとした。

○セリヌンテイウス

- ・ 刑場でも平気だった。
- ・ 一度疑ったことを打ち明けた。



【第六場面】

◇時

- ・ 日没の寸前

◇場所

- ・ 刑場

◇登場人物

○メロス（勇者）

- ・ ひどく赤面した。

○セリヌンティウス（よき友）

- ・ メロスに教えてやった。

○王

- ・ 二人のさまをまじまじと見つめていた。

- ・ 二人の仲間に入れて欲しいと頼んだ。

○一人の少女

- ・ 緋のマントをメロスに捧げた。

